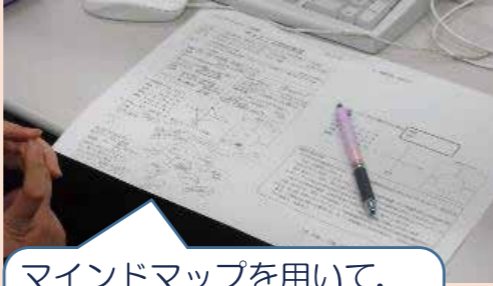


Step1



これから取り組む課題研究のテーマを夢中で考えています。1年後の研究成果に胸ときめかせながら、一生懸命考えています。

隣の人に、自分が取り組みたい課題研究の内容を伝え合っています。自分では予想していなかった質問もあり、より深く考えていきます。



マインドマップを用いて、自分の発想力を引き伸ばし一生懸命考えています。

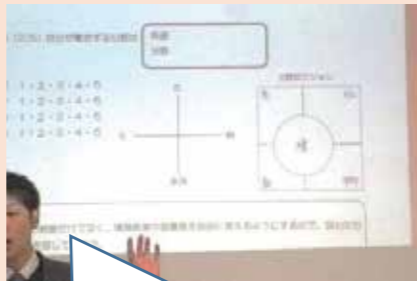
Step2



アイデアを出し合い、探究過程について議論しています。



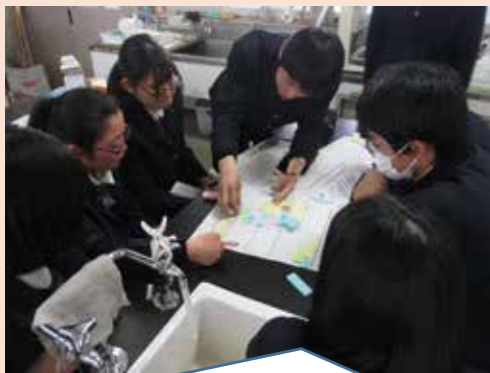
コンピュータから離れて、自分たちの興味や関心で話し合っています。



自分ひとりで、または友達と考えた後、自分の興味を客観的に再確認します。

Step3

みんなで、アイデアを出し合ったグループ版「未来予想ポスター」を作ります。



グループで話し合い、「未来予想ポスター」を作っています。お互いのアイデアを文字で見ながら、話し合います。



Step4

更に、個人でもしっかりと調べて、個人版「未来予想ポスター」を作ります。

パフォーマンスとポートフォリオで指導と評価!

研究の見通しをもって計画する 「未来予想ポスター」 の活用法

発想力



見通す力



研究
計画

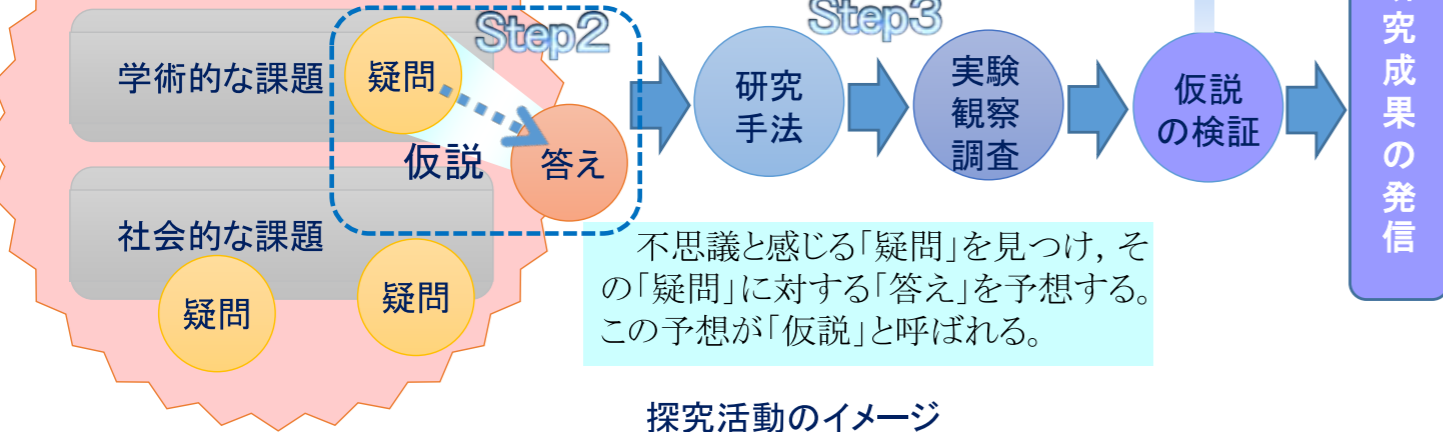


探究活動におけるテーマ設定と研究方法の妥当性の検証
～課題の発見からテーマ設定までの指導で大切にしていること～

課題を発見できたら、次は解決できる形の研究テーマを設定することが大切である。

Step1

教科書の内容や社会の諸問題等の中から発見した「興味のあること」



探究活動のイメージ

Step1

活動:教科書等の内容や社会の諸問題の中から、「興味のあること」を見つける。

- ①マインドマップを用いて、各自の「興味があること」をマッピングさせる。それに加えて、「興味があること」に関連する「研究したいこと」をマッピングさせる。

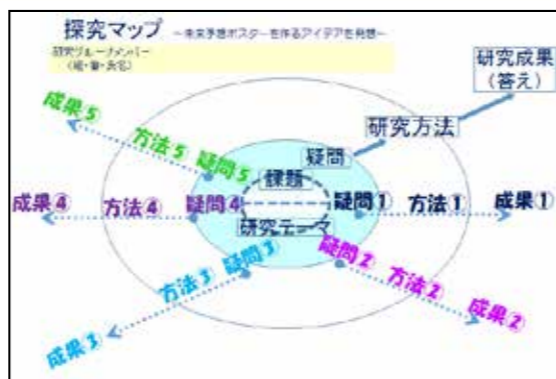


- ②個々に「研究したいこと」を、お互いアピールさせて、いっしょに研究する共同研究者を集めさせる。(高校生の場合、個人研究よりも、議論を重ねながら研究できるグループ研究を薦める。)
- ③「研究したいこと」の中から、「学術的な課題」または「社会的な課題」となるものを見つけさせる。(これが「研究テーマ」の候補に繋がる。)

Step2

活動:興味を持った「学術・社会的な課題」について、探究過程を見つける。

- ①研究グループでアイデアを出し合い、「探究マップ」を用いて、興味を持った「学術・社会的な課題」、「研究テーマ」→「研究方法」→「研究成果」の探究過程をマッピングさせる。
- ②マッピングする「探究マップ」を見ながら、自らの発想(探究過程)を認知させ、共同研究者の発想も認知させた上で、議論を深めさせる。
- ③作成した「探究マップ」を、「未来予想ポスター」の設計図として活用させる。

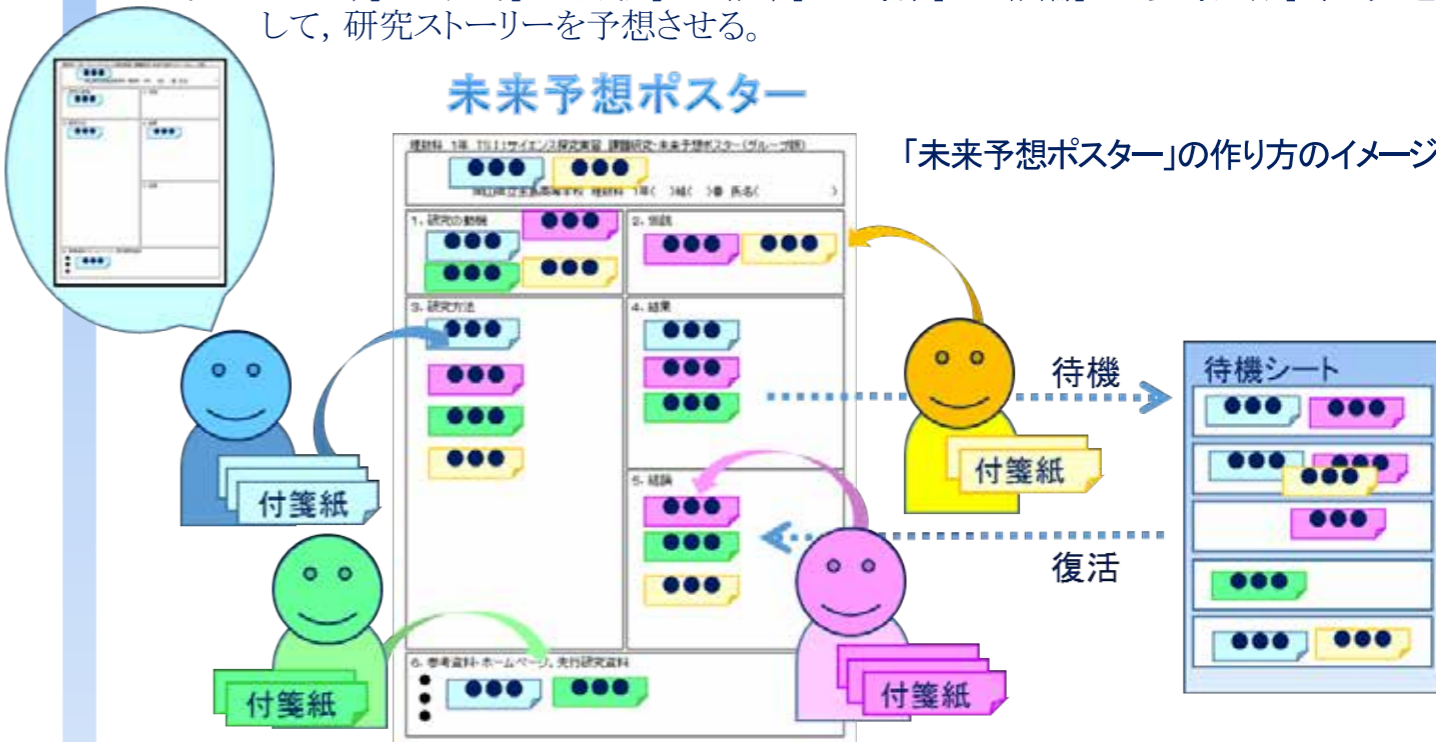


開発中の「探究マップ」:探究過程の見直し

Step3

活動:見通しを立てた探究過程、仮説をもとに、研究ストーリーを予想する。

- ①「探究マップ」を放射状に見ながら、「疑問」から「答え(研究成果)」までの「探究過程の見直し」を検討して、仮説(または研究のねらい)を設定させる。
- 仮説が立てにくい場合は、「学術的な貢献」または「社会的な貢献」を研究のねらいとすればよい。
- ②「未来予想ポスター」を用いて、仮決定した「研究テーマ」について、「仮説(または研究のねらい)」→「目的」→「方法」→「結果」→「考察」→「結論」→「参考文献」等を見通して、研究ストーリーを予想させる。



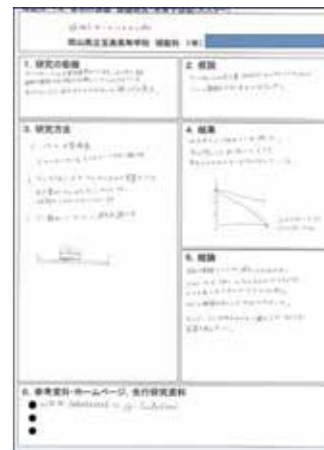
【未来予想ポスターの作り方】

- 個人で考えたアイデアを付箋紙に書いて、未来予想ポスターの枠に貼り付ける。これによって、自分の発想をメタ認知する。
- 付箋紙に書いて貼った、お互いのアイデアについて議論する。これによって、共同研究者の発想を他者メタ認知する。
- 議論の中で、アイデアを書いた付箋紙を貼ったり、はがしたり(待機シートへ移動)して、未来の研究ストーリーを見通した未来予想ポスターを作成する。

Step4

活動:研究過程を予想することで、「研究テーマ」と「研究方法」等の妥当性を確認する。

- ①「未来予想ポスター」の作成に取り組み、注目した各「研究テーマ」について「研究方法・結果・考察・結論」を予想して、「研究テーマ」や研究の方向性と妥当性の検討に取り組ませる。
- ②作成したグループ版「未来予想ポスター」をもとに、次は生徒1人ひとりが、書籍等も調べて、個人版「未来予想ポスター」を作ることに取り組ませる。
- ③個々に、「未来予想ポスター」を作成させることで、生徒1人ひとりに研究グループの一員としての自覚と責任を持たせる。



【課題研究】教科書等の内容や社会の諸問題から課題を発見して、不思議と感じる「疑問」を見つけ、その「疑問」に対する「答え」を予想する。この予想が「仮説」と呼ばれる。仮説を検証するための適切な実験・観察・調査等の研究方法を考えて取り組み、得られた客観的なデータをもとにして、分析と考察を行い新たな知見を創造して、自らの考えをまとめて結論を導く。

未来予想ポスター



研究タイトル「

研究者(

)

1. 目的

4. 結果

2. 仮説

3. 研究方法

5. 考察

6. 結論

7. 引用文献・参考文献

